

平成 16年 3月期

第 3 四半期業績の概況(連結)

平成 16年 1月 30日

上 場 会 社 名 第一工業製薬株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 4461

本社所在都道府県

(URL http://www.dks-web.co.jp)

京都府

代 表 者 役 職 名 取締役社長

氏 名 植田 武彦

問合せ先責任者 役 職 名 専務取締役総務経理本部長

氏 名 宮本 昭一

TEL (075) 255 - 0900

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成 16年 3月期第 3 四半期の業績概況(平成15年4月1日~平成15年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

期	項目	売上高	営業利益	経常利益
		百万円	百万円	百万円
平成16年3月期第3四半期		27,473	625	491
平成15年3月期第3四半期		-	-	-
(参考)平成15年3月期通期		36,490	653	595

期	項目	当期(四半期)純利益	1株当たり 当期純利益
		百万円	円 銭
平成16年3月期第3四半期		168	5.12
平成15年3月期第3四半期		-	-
(参考)平成15年3月期通期		399	11.94

(注) 当連結会計年度より四半期業績の開示を行っておりますので、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におけるわが国経済は、景気の回復は底離れしつつあるものの、円高懸念や個人消費の横ばいなどにより、先行きに不透明感が増しております。

また、当社の属します化学業界におきましては、原油・ナフサの国際市場が高止まり基調で推移し、厳しい経済環境が続きました。

このような状況の中で、当社は引き続き、基幹製品事業の収益力の向上や新規事業の育成等に努めましたが、円高による海外事業の採算悪化の影響等があり、当第 3 四半期は、売上高 274 億 73 百万円、営業利益 6 億 25 百万円、経常利益 4 億 91 百万円、当期純利益 1 億 68 百万円となりました。

(参考)平成 16年 3月期第 3 四半期の個別経営成績の概況(平成15年4月1日~平成15年12月31日)

期	項目	売上高	営業利益	経常利益
		百万円	百万円	百万円
平成16年3月期第3四半期		23,963	475	476

期	項目	当期(四半期)純利益	1株当たり 当期純利益
		百万円	円 銭
平成16年3月期第3四半期		255	7.78

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	36,800	740	270	8.24

(参考)平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 配当金
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	32,100	700	330	5.00

[業績予想について]

今後のわが国経済は、円高懸念等により先行きに不透明感が増しており、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

通期の業績予想は、円高による海外事業の採算悪化の影響等を勘案し、平成15年11月10日に発表しました経常利益及び当期利益の業績予想数値を修正しております。

[業績予想に関する注意事項]

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上